

会議録

会議の名称	令和2年 第7回東大阪市特別職の議員報酬等審議会
開催日時	令和2年 7月 27日(月) 13時30分から14時30分
開催場所	本庁舎22階 会議室
出席者	石津委員 大石委員 小林委員 高橋委員 田中委員 平本委員 村岡委員 事務局
欠席者	なし
案件名	<ul style="list-style-type: none"> ・市議会議員、市長及び副市長の期末手当のあり方について ・市長及び副市長の退職手当のあり方について ・答申書案について
提出された資料等の名称	<ul style="list-style-type: none"> ・市長、副市長及び議員の期末手当(中核市) ・市長及び副市長の退職手当(中核市) ・市長及び副市長の給料(府内中核市・人口40万人以上の中核市・年間支給額) ・答申書案
決定事項	<ul style="list-style-type: none"> ・市議会議員、市長及び副市長の期末手当のあり方について ・市長及び副市長の退職手当のあり方について
会議の公開、非公開	非公開
会議録の公表、非公表	公開(議事概要)
所管部署(事務局)	行政管理部 職員課

審 議 内 容

事務局より資料説明

以下項目について説明

- ・市長、副市長及び議員の期末手当
- ・市長及び副市長の退職手当
- ・答申書案

委員からの意見

【期末手当】

- ・単に月数だけ見たら、市長、副市長も議員も他の中核市と比べて、極端に高いわけでもないし、極端に低いわけでもない。
- ・一覧表を見る限りでは、東大阪市は中位。必ずしも比較して、それが真ん中だからいいとか悪いとかいうことではないが、中核市の中での、東大阪市の位置取りの中の期末手当ということであれば、この数字というのは、それなりの意味を持っているのでないかと考える。
- ・市長、副市長も議員も、だいたい平均的のところだと思うので、触る必要はないかなと思う。

- ・位置づけだけが問題ではないが、現状を積極的に変えるべき理由、根拠が見当たらない。審議は別の機会にさせていただいて、現状維持でよいのではないかと。

【退職手当】

- ・全体的に見て、触る必要はなく、現状でいいのではないかと。
- ・1期目より2期目の方が市政に対する貢献度が高くなるように思うが、同じ規定で対応しないといけないのか。
- ・大阪府下で見ると、平均の中におさまっている。前回、平成24年に支給率を市長、副市長ともに下げていて、現在の平均が平均を少し上回るくらいなので、問題ないと思う。
- ・審議事項ではないが、特別職の退職手当について一部歪な状態となっているのであれば、行政内部で検討整理した方がいいのではないかと。

【答申書案】

- ・特別職には、市長、副市長の他に、教育長、水道事業管理者等入ると思う。その審議をしていないのに、「特別職の給料月額」という表現でいいのか。
- ・具体的意見欄に5%削減の意見もきちんと入れておいていただければ。意見を無視するというものでなければ、結論をまとめるまでの流れがわかるような形で書いてもらいたい。ある程度意見が出た中で、最終的に10%になったということがわかるような書き方をしてほしい。
- ・審議会開催は、2年に1回を強い要望とする。
- ・今後もずっと市長、副市長のみの報酬審議会とするのか。特別職ということであれば、特別職の方（すべて）の審議をするのが普通ではないかと思う。

まとめ

- ・市議会議員、市長及び副市長の期末手当並びに市長及び副市長の退職手当のあり方については、現状を積極的に変更すべき理由は見当たらない。ただし、今回深く審議できなかった制度上の課題等については、行政内部で検討整理を行うことが望ましい。
- ・答申書案については、次回審議会（答申）までに意見等を反映したうえで修正を行う。

次回配布予定資料

- ・ 答申書案

次回の開催日程等

第8回の審議会：開催日 8月17日（月）午後1時30分
場 所 10F副市長応接室